



高知県介護福祉士会広報誌 — 第50号 —

喜怒哀楽

K I D O A I R A K U

●発行 高知県介護福祉士会
●編集 広報委員会
●事務局 〒780-8567
高知市朝倉戊375-1
高知県社会福祉協議会内
TEL 088-844-4611
FAX 088-844-9443
●URL <http://kaigo-kochi.jp/>

祝50号発刊

「喜怒哀楽」50号発刊にあたり思うこと

「喜怒哀楽」は、平成22年1月に創刊され、この度50号が発刊されました。広報誌の名称である「喜怒哀楽」は、私たち介護福祉士が、ご利用者と共に一緒に喜び、楽しみながらも、制度や社会的矛盾に怒っていることを共有し、また、哀しみを共感していきたいとの思いで発刊されました。そして、20号発刊の際には、皆さんが少しでも読みやすいように、リニューアルし、創刊から12年間、継続して皆さんの元にお送りさせていただいております。このように長年、継続ができていることは、私たち作り手側のみだけではなく、皆さんの応援や協力があってできていることだと思います。ありがとうございます。

これからも、少しでも皆さんのお役に立てるような内容をお届けしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

広報委員長(副会長) 溝淵 由記

「喜怒哀楽」50号記念にあたり

あっという間の50号…創刊当時、紙質からレイアウト、内容を検討するため、当時の広報委員が、数え切れないほどの他機関の広報誌を持ち寄りながら、高知県介護福祉士会としての方向性を考えたことを思い出します。

創刊後は、会からの発信のみならず、他機関、他団体の専門家の方々からも、投稿のご協力をいただきながら、ここまでくることができました。

喜怒哀楽と命名した経緯は、上記の記事に掲載されているとおりであり、皆さんも日々この感情をコントロールしながら、現場で格闘しているかと思います。

近年はコロナ禍の状況において、感染対策の強化、面会、交流制限、生活範囲の縮小や活動自粛等我慢が続いています。

そのため、楽しかった、喜んでもらえたという満足が届け辛い環境に、私自身も苦勞しています。

それでも、このような状況だからこそ、まわりのほんの少しのことにも感性を研ぎ澄ませ、ご利用者と笑い、時には一緒に泣ける身近な存在であり続けたいと思います。そして定期的に届く広報誌喜怒哀楽が会員の皆さんの身近な存在であり続けられるよう、これからも意義ある情報発信役を担っていただけたらと思います。

前広報委員長(顧問) 山中 由美子

東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

良質な睡眠は、健康で充実した
毎日を過ごす基本です！

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。



TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社 愛媛営業所
〒791-1114 愛媛県松山市井門町 21-1
www.toyoumo.co.jp



お気軽にお問い合わせ
ください



0120-233107

養成校から実習指導者へ期待すること

令和3年度実習指導者講習会(11/10・11、12/1・2の全4日間)が開催されました。今回ご協力をいただきました県内養成校の先生より、「実習指導者へ期待すること」として、お言葉を頂戴しました。

介護福祉は介護従事者が利用者を支援することですが、利用者の笑顔から自身の存在意義を感じるなど、互いに支え合っていると感じます。介護福祉士養成校の学生には、介護実習で人と関わることの面白さを感じられる体験をしてもらいたいと考えます。そのためには、実習指導者のサポートが必要不可欠です。介護福祉士が真摯に利用者に向き合っているように、学生のサポートも個別性に応じた支援で、介護福祉と教育は似ています。実習指導者の皆さまには、実習という学生の貴重な体験を対人援助のプロとしてサポートしていただけたらと思います。

(高知県立大学社会福祉学部 助教 田中 眞希 氏)

養成校から期待することは、『実習生が憧憬の念を抱くような実習指導者を目指して頂きたい』ということです。実習指導者が及ぼす実習生への影響は、とても大きいです。私自身、学生時代の実習で出会った実習指導者の影響で、その施設への就職を決めました。これは、今の学生も変わりません。真面目・面白い・志が高い等々、ご自身の持ち味を見つけ、実習生から憧憬の念を抱かれる実習指導者となることを期待します。

(高知福祉専門学校 学科長 森田 裕之 氏)

学生達は、学校では介護福祉実習の意義や目的等を学習していますが、各実習施設の特徴(現状)や役割を事前学習として十分に理解していないまま、皆さまにお世話になり指導していただいているのが現状です。将来介護福祉士を目指す学生達が、養成校での座学中心の学習に加え、各実習施設での体験的学習を経験することで、介護に対する目標や、やりがいをはっきりと把握できるものと考えますので、皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

(平成福祉専門学校 教務主任 片岡 史陽 氏)



この度、ご協力いただきました先生方に、改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

Entrance

靴底汚れの侵入を防ぐ
レンジャーマット
※サイズ: 1800×900

オフィスの玄関に
上質なラグを
※サイズ: 2400×1800

入口のイメージアップを
オーダーマット
※サイズ: 2400×1800

①汚れ防止
入室する際に靴底に付着した土砂の侵入を
吸着剤や素材の特性を活かして防ぎます。

②エントランスのドレスアップ
自由な表現が可能なオリジナル・オーダー
マットで入口のイメージアップを図ります。

日本ダストコントロール協会加盟店
清潔と快適の総合サービスをめざす リユース&リニューズ

有限会社 **リースキン高知**

本社 〒781-0252 高知市瀬戸東町2丁目77番地2
営業所 高知市長浜1592-4 TEL (088)841-6336 Fax (088)841-5668

高知県災害派遣福祉チーム(高知県DWAT) 第2期養成研修に参加して

令和3年11月19日にふくし交流プラザにおいて、DWAT (Disaster Welfare Assistance Team) 養成研修が開催されました。

高知県には、DMAT (災害派遣医療チーム)、DPAT (災害派遣精神医療チーム)、DWAT (災害派遣福祉チーム) があり、私たちDWATは災害時の一般の避難所における福祉的支援を行うことや平時の活動を通じた地域の防災力向上が活動内容となっています。災害時には、被災自治体からの要請に基づき公的チームとして派遣されます。具体的内容は、①福祉避難所への誘導、②災害時要配慮者へのアセスメント、③日常生活上の支援、④相談支援、⑤一般避難所内の環境整備、⑥本部、都道府県と



の連絡調整、状況等の報告、⑦後続のチームへの引き継ぎ、⑧被災市町村や避難所管理者との連携、⑨他職種との連携、⑩被災地域の社会福祉施設等との連携など多岐にわたっています。活動で大事なことは、二次被害の防止、被災地域の自立性の尊重である。まずは、自分たちが被災地に出向き、活動がスムーズに遂行できるように、日ごろから研修を積み重ねていくことが大切だと感じました。

広報委員長(副会長) 溝渕 由記

青年部NEXTの活動 ～若手職員と一緒に盛り上げてくれる会員募集～

寒い季節が続いておりますが、会員の皆さんは体調など崩されていませんか？新型コロナウイルスによって活動の自粛をせざるを得ない状況で、オンライン併用の多様な研修の開催など、変化の多い年だったと思います。青年部NEXTも色々な方法を模索しながら活動を続け、SNS (Instagram、Facebook、ホームページ) での情報発信を行っています。来年度に向けて若手職員のための研修や勉強会、交流会を準備しており、感染症を踏まえてオンライン (zoom) でも開催していきたいと思っております。



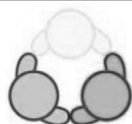
LINE@



Instagram

現在、NEXTでは若手職員と一緒に盛り上げていただける方を募集しています。例年の主な活動としては、施設見学や研修のお手伝い、若手職員での交流会等です。新しい発想で楽しく活動できればと思っています。ぜひ、一度SNSをご覧くださいお声掛け下さい！

NEXT委員長(理事) 野中 大輔



福祉介護タクシー

— 安心安全な運転と介助サービスを提供いたします —

『乗車料金は通常のタクシーと同様です。』『介助が必要な場合は、介護職員が同行します(別途サービス料)』



〔常設車両〕



一般乗用旅客自動車運送事業(福祉輸送限定)
- 四国運輸局認定第174号 -

〒780-0927 高知県高知市山ノ端町16
一般社団法人SLS
合同会社シニアライフサービス

ご連絡・ご相談は

☎088-874-0123 まで

(4) 令和4年1月

研修・イベントのお知らせ

日程	内容	講師等	会場
2月24日(木)	実習指導者フォローアップ研修	介護福祉士養成校講師 高知県介護福祉士会理事	ふくし交流 プラザ
3月4日(金)	特別研修会 「介護現場への障がいがある方への 雇用促進について」	特別養護老人ホーム はるの若菜荘 施設長 大野 瑞穂 氏	ふくし交流 プラザ/ オンライン
3月22日(火)	「介護福祉士としての虐待防止と 職業倫理」研修	高知県介護福祉士会理事	
4月23日(土)	令和4年度総会・第1回全体研修会	日本介護福祉士会 会長 及川 ゆりこ氏	

※福祉研修センター共催のケアテーマ別研修テーマ①、③に参加の会員の皆さんへ、当会主催研修会で使用いただける割引券(1,000円分)を発行しています。

※各研修会や最新の情報は本会ホームページに掲載します。(HPから研修申込ができます)

※研修会について何かご要望等ありましたら、下記メールアドレスまでお願いいたします。

メール ☒ ccw@kaigo-kochi.jp

ホームページ
QR



編集後記

高知県介護福祉士会の広報誌として、ようやく50号という一つの節目にきました。この機会に創刊号(2010年1月)等をいくつか読み直してみたのですが、改めて色々な時代があったんだなあと感じています。

今とは違う構成として、まず一番びっくりしたのは本文が縦書きだったことです。ちょっと硬い印象ですね。研修のお知らせや広告は横書きなんですけど…。そして創刊時より変わらないことは、基本的なことですが私たち介護福祉士の為の情報提供の場です。ホームページで全ての「喜怒哀楽」が読めますので、ぜひご参照下さい。

まだまだ10年ちょっとですが、今後も皆様にいろいろな情報を提供させていただきます。

広報委員(理事) 福西 利孝

お仕事承ります!

今お使いの名刺や封筒、
ハビリに相談してみませんか?

(パンフレット・定期刊行物・一般帳票類など、印刷物全般)

高知ハビリデーリングセンター

私たちは障害のある方々の「働きたい」を
サポートする事業所です。

まずは見積もりから!
気軽にお電話下さい。

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷63番地6

TEL(088)842-1921 担当:中山、福西